

ボランティアセンターだより

鴻巣市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL597-2100

第252号

社協HPは
こちら

鴻巣市箕田4211-1 鴻巣市総合福祉センター内

FAX597-2102

令和5年1月発行

いつでも・どこでも・誰でも

そして楽しく



令和4年度 ボランティア養成事業

おとな大学ボランティア学科 第5期 開校しました！



岡田先生の講義の様子



副学長の挨拶



第5期生が緑化活動で植えた花壇で記念撮影



グループワークの様子

ボランティア養成事業は、ボランティアに興味や関心のある方を対象にボランティア活動を始めるときっかけづくりを提供することを目的とし実施しています。

今年度は、「おとな大学ボランティア学科」を11月30日から開校することとなりました。申し込まれた7名の方々は、おとな大学ボランティア学科の第5期生となります。

初日は、開講式と第1講座の講師としてお招きした高崎健康福祉大学の岡田先生から「地域デビューはじめての第一歩～地域活動について～」の講義を受けました。

今後は、地域のボランティアグループや包括支援センターからの講義やボランティア実習を含む全8回の講座を2月まで学んでいきます。



今まで活動した施設での新たなボランティア活動 デイサービスでグランドゴルフをする利用者の方々の見守り活動 ～「翔裕園 車椅子介助ボランティア」の活動紹介～

「翔裕園 車椅子介助ボランティア」は、特別養護老人ホーム翔裕園に入所されている方々が、近隣の公園までお花見やお散歩に行く時の車いす外出の手伝いを活動とするボランティアグループです。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、施設訪問の活動はしばらく見合わせるようになりました。



それから2年の月日が経ち、ある時会長さんから、施設の状況と今後の活動についてご相談がありました。

施設からは、外来者の面会制限は続いており、入所されている方の散歩等外出は職員で対応していることを聞き、まだ活動再開は難しいとのことでした。

感染症拡大防止にご協力ください



新型コロナウイルス感染症が広がる



しかし、施設長さんから新たな活動に、デイサービスを利用されている方々がおこなっている「グランドゴルフ」のプレーサポートの活動を紹介していただきました。

車いすの活動と違うけどどうかしら？



《活動の様子》



多い時には、12人程の方が参加声をかけながらプレーを応援する「翔裕園車椅子ボランティア」の会員さん

車いすの方でも参加できるクラブもあります



ボランティアさんの顔と名前を覚えている利用者の方もいらっしゃる「この前もきたね～」と会話する様子もありますよ。プレーが始まると、杖を利用している方も背筋がピンと変わるんです！

コロナ禍でも、これまで訪問していた翔裕園での活動を考えていた「翔裕園 車椅子介助ボランティア」は、繋がりを絶やさずに活動されています。施設では、車いすの利用者の方も楽しめるよう、車いす用クラブも用意し、会員皆さんのサポートによって、楽しく♪そしてプレー中の移動も安心して参加できます。

今後もボランティアセンターでは、地域で活動するボランティアグループの支援をしていきます。